

五戸町議会第16回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一問 一答	鈴木隆也	1. 五戸町健診センターについて	(1) 健診センターの利用者の推移は。また、利用者数増加のための取り組みは。 (2) ガン検診の有効性を高めるための取り組みは。
			2. 倉石温泉について	(1) 倉石温泉の入浴者数の推移は。また、入浴以外、どのような活動に何人が利用しているのか。 (2) 施設の老朽化など現在の課題は。また、それらの課題を受けた今後の施設のあり方を如何にお考えか。
			3. 障がいを持つ子どもの保護者への行政サービスについて	(1) 障がいを持つ子どもの保護者の心のケアはどのように図られているのか。また、今後の取り組みは。 (2) 情緒障害と知的障害を含めた障がいを持つ子どもの町内での放課後児童保育を可能にするべきだと思うが、如何にお考えか。
			4. 町民の健康増進を図る取り組みについて	(1) 今年度の新事業で健康アップ事業を展開するとのことだが、具体的にはどのような取り組みをするのか。 (2) 五戸町の公共施設におけるたばこの受動喫煙防止の措置はどのようなになっているのか。また、受動喫煙を防止するための必要な措置を講ずるよう努めているのか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一問 一答	尾形裕之	1. 「五戸はどこから来てどこに行くのか」といったまちづくりモチベーションアップのツール作成について	<p>「まちづくり」という言葉がまだない時代、昭和50年10月24日八戸青年会議所は金入忠清理事長のもと「八戸、風と土と心」のスライド上映し、第1回「市民の夕べ」を八戸市公会堂で開催した。いわゆる「ラブはちのへ運動」のはじまりである。合同制作社の企画書には、『何物も凍てつかせずにはおかない厳しい風土、人が人を喰ったという身の毛もよだつ飢餓の歴史、その中を港を突破口にしようとした先人の決断、海の包容力の大きさ、やがて近代化の波が八戸に発展と混迷をもたらす。今、八戸は中央の激しい風を積極的に受けようとする1本の手と、それを拒否して新しい八戸を築こうとするもう1本の手が激しく葛藤している・・・それが何であるのか、そのためには何をしなければならないのか。』と、この運動が全国に広まり、「まちづくり」という言葉が誕生した。</p> <p>五戸には八戸とは違った独自の歴史文化、風土がある。今、住民協議会を設置するならば「五戸はどこから来てどこに行くのか」といったまちづくりモチベーションがアップするようなツールが必要ではないのか。</p> <p>また、こういうふるさと教育を小・中学校ではどうしてきたのか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 地消地産条例について	<p>町では地消地産をもって経済の自立を図るべくまちづくりを進めてきたが、町民には今一つ知れ渡っていないため、条例を制定することを提案する。例えば、乾杯は地酒もしくは五戸産のソフトドリンクを、宴会では3品以上五戸の産物を、そして、地消地産の日を月3回つくるなど、考えればいくらでもあると思うがいかがか。</p> <p>また、前回の定例会で一般質問した五戸総合病院の入院食はどうなったのか。</p>
			3. 五戸三大美肉のイベントについて	<p>来年は十勝沖地震後50年が経つ。そして、ごのへ郷土館がオープンし、そこには南部鉄道の駅舎ができる。</p> <p>そこで、鉄道のない町の駅舎で三大美肉を使った駅弁を作ってはいかがか。弁当であれば様々な店が参加できると思うが。</p>
			4. 八戸市の高齢者バスの乗り入れについて	<p>八戸市の70歳以上の方は、所得によって2段階の年4,000円か8,000円で市内乗り放題定期券が買える。</p> <p>そこで、1,000円アップして五戸町に何回も来れるようにできないのか。</p>
			5. 子育てアパート等入居費助成事業について	<p>五戸ちゃんねるのお知らせ欄を見ていたところ、五戸町若者定住支援事業の中に但し書きが付け加わっていた。36ヵ月以上助成金をもらっている方は支給額が最高20,000円から10,000円になるとのこと。ほとんどの議員は変更を知らないが、なぜそのようになったのか説明を。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. 五戸町防災計画の見直し作業進捗状況について	<p>(1) 8月29日、午前5時58分北朝鮮がミサイル発射、北海道襟裳岬沖1,180km沖に落下とのことでしたが、東北、北海道を通過という事実を受け、想定外の事案に対する防災計画を入れてあるのか。</p> <p>(2) 策定作業が完了する時期と、住民に周知出来る時期はいつになるのか。</p> <p>(3) 避難場所、避難所の表示が見当たらないが、設置する考えはないのか。</p> <p>(4) 避難所として頑丈な構造物、シェルターの建設を考へてはいないのか。</p>
			2. 日照不足、低温が農業生産に与える影響について	<p>(1) 稲が7月末から8月初旬にかけて、出穂時期を迎えたが丁度その時に天候不順になり、不撿障害の恐れがあり、収量の減少が予測される。生育調査等の実施予定はあるのか。</p> <p>(2) 稲作のみならず野菜、長芋などの畑作や、桃、りんごなど果樹全般に与える影響については病虫害の発生が見られ品質の低下が予測されるが、調査等の実施予定はあるのか。</p> <p>(3) 収穫、販売時期を迎えますが、前記の影響により市場価格の予測が立ちません。販売価格低下により農業収入の大幅な減収になった場合、公的な支援制度の利用が考へられるが、どのような支援制度があるか、また、町独自の支援策は考へられないのか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			3. 遊休農地（耕作放棄地）、担い手のいない農地の扱いについて	<p>(1) 農地中間管理機構の利用状況はどのようなになっているか。出し手と受け手のそれぞれの登録件数と面積は。</p> <p>(2) 遊休農地（耕作放棄地）となった樹園地（畑）は病害虫の発生源となる可能性が高く、近隣の樹園地（畑）に与える影響があるので持ち主に対する意向調査はどのようにしているのか。</p> <p>(3) 担い手のいない樹園地に対する伐採、抜根等に係る経費の補助があると聞いているがどのような制度か。</p> <p>(4) 農業委員会委員と農地利用最適化推進委員との連携はどのようにしていくのか。</p>